B 07 粘着トラップ上のベイトに対するチャバネゴキブリの反応

○辻 英明（環境生物研究会） 立岩一恵（環境機器株式会社）

The response of German cockroaches to a bait on sticky traps

Hideakira Tsuji (KSK Institute for Environmental Biology)

Ichie Tateiwa (Semco Co., LTD)

1日絶食させたチャバネゴキブリの実験容器中で、トラップ付近に正常餌を置き、餌ベイト付きトラップとベイトなしのトラップを接して併置すると、両トラップ間に捕獲数の有意差がなかった。トラップ付近の正常餌を除去しても両者の捕獲数には差がなかった。3日間絶食させたゴキブリで正常餌抜きの場合、ベイト付き／ベイトなしの捕獲数比は、雄で1.9倍、雌で1.7倍となった。2個のトラップ間の最短距離を15センチとすると、上記の比は雄で3.5倍、雌で4.5倍となった。ゴキブリは遠くからベイトをピンポイント認知するのではなく、香りの気流方向を試歩行と補正を繰り返し感知接近するために、近接するベイトなしのトラップにも踏み込み捕獲され、空腹の度合いが高まれば、ベイトや餌の位置を一層正確に識別できるようになると言える。

B 08 飼育餌の違いが3種ゴキブリ成虫の寿命および孵化幼虫数に及ぼす影響

○内海 与三郎（アース・バイオケミカル）、根岸 務（アース製薬）、亀井 正治（アース・バイオケミカル）

Effects of rearing foods on longevity and fecundity of adults of three species of cockroaches

Yosaburo Utsumi, Tsutomu Negishi, Masaharu Kamei

牛肉の缶詰（以下肉と略す）、生のタマネギとキャベツ（以下野菜と略す）および実験動物用固形飼料（オリエンタル酵母製MF；以下固形飼料と略す）をそれぞれ別個にチャバネゴキブリ、クロゴキブリおよびワモンゴキブリの成虫に与え、室温 $25 \pm 2^\circ\text{C}$ 、14L-10Dの明暗条件で飼育し、成虫の寿命および孵化幼虫数を調べた。その結果、チャバネゴキブリでは雌雄とも固形飼料、肉、野菜の順に平均寿命が長く、孵化幼虫数もこの順に多かった。クロゴキブリでは雌雄とも野菜、固形飼料、肉の順に平均寿命が長く、孵化幼虫数もこの順に多かった。ワモンゴキブリでは固形飼料、肉、野菜の順に寿命が延びる傾向を認め、固形飼料、野菜、肉の順に孵化幼虫数多かった。これらの試験結果より、ゴキブリ成虫の生存と繁殖に適する餌（栄養成分）が種によって異なることが推察された。